



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一

(TEL) 03-5550-3735

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	39,535	△1.0	1,466	0.0	1,375	△7.5	945	△26.9
2025年3月期第3四半期	39,925	5.8	1,465	196.6	1,487	186.1	1,294	301.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,631百万円(△42.0%) 2025年3月期第3四半期 1,148百万円(△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	44.97	—
2025年3月期第3四半期	61.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	71,054	22,288	31.2
2025年3月期	67,862	21,077	30.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,204百万円 2025年3月期 20,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	0.7	1,950	7.4	1,650	△5.9	1,150 △25.5 54.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期 3 Q	2025年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	322,015株	2025年3月期	322,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	21,027,985株	2025年3月期 3 Q	21,027,999株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が継続する一方、米国の通商政策や中国経済の回復の遅れ、人手不足に伴う人件費の上昇や物価の上昇が企業の経営環境に影響を与えております。また、物価上昇の継続による消費者マインドの冷え込みや金利上昇、為替相場の変動、地政学リスクなどによる景気下振れの懸念があり、先行き不透明な状況が続いております。

化学業界におきましては、半導体市況の回復に伴い、半導体市場向け製品の販売は堅調である一方、石油化学製品を中心に、中国の同国内の需要を上回る生産とそれに伴う輸出拡大の影響が長期化しており、エチレン生産設備の稼働率が低迷を続けるなど厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、土木建築用薬剤や香粧原料等の販売減少により、前年同期比390百万円、1.0%減収の39,535百万円となりました。

損益面につきましては、当社単体の営業利益は、売上構成の変化等に伴う利益率の改善により前年同期比増益となりました。一方、連結子会社である東邦化学（上海）有限公司は、加圧反応設備増設に向けた建屋補強工事のため一部の設備の稼働を一時休止したことから、営業利益は前年同期比減益となりました。また、連結子会社である懷集東邦化学有限公司は、原料の相場価格下落により在庫評価損が発生したことから、営業利益は前年同期比減益となりました。その結果、連結営業利益は前年同期並みの1,466百万円となりました。経常利益は、為替差益の減少等により前年同期比111百万円減益の1,375百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に特別利益として278百万円を計上した投資有価証券売却益が大幅に減少したことから、前年同期比348百万円減益の945百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香粧原料は、海外での販売は伸長しているものの国内での販売が振るわず減収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤等の販売が伸長し増収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤が国内外ともに低調で減収となりました。農薬助剤は、主に国内向けの販売が伸長し増収となりました。繊維助剤は、海外での販売が減少し減収となりました。紙パルプ用薬剤は、サイズ剤や消泡剤等の販売が減少し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比763百万円、3.9%減収の19,028百万円となり、セグメント利益は、売上構成の変化等に伴い利益率は改善したものの、減収による収益へのマイナス影響が大きく、前年同期比10百万円減益の541百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザー向け販売がやや回復し増収となりました。合成樹脂は、自動車部品向け等の販売が振るわず減収となりました。樹脂エマルションは、金属表面処理剤やフロアーポリッシュ用の販売が振るわず減収となりました。アクリレートは、海外ではやや増収となったものの国内での販売が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比21百万円、0.6%増収の3,549百万円となり、セグメント利益は、前年同期比28百万円減益の44百万円となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。石油添加剤は、国内外とともに販売が減少し減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の販売減少により減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比30百万円、0.6%減収の4,719百万円となり、セグメント利益は、前年同期比132百万円増益の183百万円となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、医薬品用等の販売減少により減収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、上期は一部の設備の更新に伴う生産・販売調整があったものの、第3四半期は復調し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比286百万円、2.4%増収の12,072百万円となりました。セグメント利益は、円安進行による輸入原料の値上がり分の価格転嫁の遅れにより一時的に利益率が低下した製品があったことや、間接部門の固定費の配賦割合が高まったことも含め、固定費が増加したことから、前年同期比136百万円減益の567百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益の前年同期比の数値は、後記P. 8（セグメント情報等の注記）「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額（棚卸資産の調整額等）が114百万円（前年同期は88百万円）あります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、71,054百万円と前期末比3,192百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が754百万円増加の37,697百万円、固定資産が2,438百万円増加の33,357百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が421百万円の増加、受取手形及び売掛金が383百万円の増加、棚卸資産が239百万円の減少、仮払消費税や未収法人税等の増加を主因とするその他（流動資産）が188百万円の増加です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が1,262百万円の増加、投資その他の資産が1,195百万円の増加です。

負債合計は48,766百万円と前期末比1,981百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が1,217百万円の増加、短期借入金が772百万円の増加、未払法人税等が409百万円の減少、賞与引当金が358百万円の減少、設備関係支払手形や未払費用の増加を主因とするその他（流動負債）が1,370百万円の増加、長期借入金が359百万円の減少、リース債務の減少を主因とするその他（固定負債）が206百万円の減少です。

純資産は、22,288百万円と前期末比1,210百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額により525百万円の増加、その他の包括利益累計額が689百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	5,900	6,321
受取手形及び売掛金	13,755	14,139
棚卸資産	16,684	16,445
その他	604	793
貸倒引当金	△2	△2
流动資産合計	36,943	37,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,624	13,296
機械装置及び運搬具（純額）	4,827	4,501
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	585	2,669
その他（純額）	2,274	2,106
有形固定資産合計	24,457	25,720
無形固定資産	1,065	1,046
投資その他の資産	5,395	6,591
固定資産合計	30,919	33,357
資産合計	67,862	71,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,353	9,570
短期借入金	10,302	11,074
1年内償還予定の社債	800	800
未払法人税等	425	16
契約負債	4	2
賞与引当金	639	280
その他	3,252	4,623
流動負債合計	23,777	26,368
固定負債		
社債	900	900
長期借入金	14,780	14,420
退職給付に係る負債	5,722	5,679
資産除去債務	77	78
その他	1,526	1,320
固定負債合計	23,007	22,398
負債合計	46,785	48,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	13,389	13,914
自己株式	△163	△163
株主資本合計	15,877	16,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	3,021
為替換算調整勘定	2,910	2,552
退職給付に係る調整累計額	227	228
その他の包括利益累計額合計	5,112	5,801
非支配株主持分	87	83
純資産合計	21,077	22,288
負債純資産合計	67,862	71,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	39,925	39,535
売上原価	33,724	33,272
売上総利益	6,200	6,263
販売費及び一般管理費	4,735	4,796
営業利益	1,465	1,466
営業外収益		
受取利息	11	5
受取配当金	120	135
為替差益	100	-
物品売却益	56	48
その他	96	109
営業外収益合計	385	298
営業外費用		
支払利息	280	314
為替差損	-	6
その他	83	68
営業外費用合計	363	389
経常利益	1,487	1,375
特別利益		
固定資産売却益	1	-
投資有価証券売却益	278	12
特別利益合計	279	12
特別損失		
固定資産廃棄損	44	65
特別損失合計	44	65
税金等調整前四半期純利益	1,722	1,323
法人税等	426	378
四半期純利益	1,296	945
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,294	945

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,296	945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	1,047
為替換算調整勘定	219	△361
退職給付に係る調整額	31	0
その他の包括利益合計	△147	686
四半期包括利益	1,148	1,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,145	1,635
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	16,500	2,811	2,613	11,460	33,386	52	33,438	—	33,438
アジア	3,011	716	1,444	280	5,453	14	5,468	—	5,468
その他	279	0	691	44	1,015	3	1,018	—	1,018
顧客との契約か ら生じる収益	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	70	39,925	—	39,925
外部顧客への 売上高	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	70	39,925	—	39,925
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	85	85	△85	—
計	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	155	40,011	△85	39,925
セグメント利益 又は損失(△)	551	72	50	704	1,379	△2	1,376	88	1,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含
んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額88百万円には、棚卸資産の調整額57百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティ ケミカル	計				
売上高									
日本	15,811	2,827	2,594	11,785	33,019	64	33,083	—	33,083
アジア	2,814	719	1,508	210	5,252	99	5,352	—	5,352
その他	401	1	617	76	1,097	1	1,099	—	1,099
顧客との契約か ら生じる収益	19,028	3,549	4,719	12,072	39,369	165	39,535	—	39,535
外部顧客への 売上高 セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19,028	3,549	4,719	12,072	39,369	165	39,535	—	39,535
—	—	—	—	—	—	89	89	△89	—
計	19,028	3,549	4,719	12,072	39,369	255	39,624	△89	39,535
セグメント利益	541	44	183	567	1,336	15	1,351	114	1,466

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額114百万円には、棚卸資産の調整額84百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,100百万円	2,078百万円